

特許協力条約

PCT

特許性に関する国際予備報告 (特許協力条約第二章)

(法第 12 条、法施行規則第 56 条)
[PCT 36 条及び PCT 規則 70]

REC'D 30 MAR 2006

WIPO

PCT

出願人又は代理人 の書類記号 KW303PC	今後の手続きについては、様式 PCT/ IPEA/ 416 を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP2004/018536	国際出願日 (日. 月. 年) 07. 12. 2004	優先日 (日. 月. 年) 08. 12. 2003
国際特許分類 (IPC) Int.Cl. H03M13/25 (2006. 01), H04L27/12 (2006. 01), H04L27/14 (2006. 01)		
出願人 (氏名又は名称) 株式会社 ケンウッド		

- この報告書は、PCT 35 条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。
法施行規則第 57 条 (PCT 36 条) の規定に従い送付する。
- この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 3 ページからなる。
- この報告には次の附属物件も添付されている。
 - ☒ 附属書類は全部で 3 ページである。
 - ☒ 補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面の用紙 (PCT 規則 70. 16 及び実施細則第 607 号参照)
 - ☐ 第 I 欄 4. 及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した差替え用紙
 - ☐ 電子媒体は全部で (電子媒体の種類、数を示す)。
配列表に関する補充欄に示すように、電子形式による配列表又は配列表に関連するテーブルを含む。
(実施細則第 802 号参照)
- この国際予備審査報告は、次の内容を含む。
 - ☒ 第 I 欄 国際予備審査報告の基礎
 - ☐ 第 II 欄 優先権
 - ☐ 第 III 欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成
 - ☐ 第 IV 欄 発明の単一性の欠如
 - ☒ 第 V 欄 PCT 35 条 (2) に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明
 - ☐ 第 VI 欄 ある種の引用文献
 - ☐ 第 VII 欄 国際出願の不備
 - ☐ 第 VIII 欄 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 07. 07. 2005	国際予備審査報告を作成した日 14. 03. 2006	
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号 100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目 4 番 3 号	特許庁審査官 (権限のある職員) 藤井 浩	5 K 8625
電話番号 03-3581-1101 内線 3556		

様式 PCT/ IPEA/ 409 (表紙) (2005 年 4 月)

第I欄 報告の基礎

1. 言語に関し、この予備審査報告は以下のものを基礎とした。

- ☒ 出願時の言語による国際出願
☐ 出願時の言語から次の目的のための言語である _____ 語に翻訳された、この国際出願の翻訳文
☐ 国際調査 (PCT規則12.3(a)及び23.1(b))
☐ 国際公開 (PCT規則12.4(a))
☐ 国際予備審査 (PCT規則55.2(a)又は55.3(a))

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に回答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

☐ 出願時の国際出願書類

☒ 明細書

第1-16 _____ ページ、出願時に提出されたもの
 第 _____ ページ*、 _____ 付で国際予備審査機関が受理したもの
 第 _____ ページ*、 _____ 付で国際予備審査機関が受理したもの

☒ 請求の範囲

第2 _____ 項、出願時に提出されたもの
 第 _____ 項*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの
 第5,7 _____ 項*、07.10.2005 付で国際予備審査機関が受理したもの
 第1,3,6,9,10 _____ 項*、10.01.2006 付で国際予備審査機関が受理したもの

☒ 図面

第1-8 _____ ページ/図、出願時に提出されたもの
 第 _____ ページ/図*、 _____ 付で国際予備審査機関が受理したもの
 第 _____ ページ/図*、 _____ 付で国際予備審査機関が受理したもの

☐ 配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☒ 補正により、下記の書類が削除された。

☐ 明細書 第 _____ ページ
☒ 請求の範囲 第4,8 _____ 項
☐ 図面 第 _____ ページ/図
☐ 配列表(具体的に記載すること) _____
☐ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること) _____

4. ☐ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c))

☐ 明細書 第 _____ ページ
☐ 請求の範囲 第 _____ 項
☐ 図面 第 _____ ページ/図
☐ 配列表(具体的に記載すること) _____
☐ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること) _____

* 4. に該当する場合、その用紙に“superseded”と記入されることがある。

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、
それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性(N)	請求の範囲 2, 3, 5, 7	有
	請求の範囲 1, 6, 9, 10	無
進歩性(IS)	請求の範囲 2, 3	有
	請求の範囲 1, 5-7, 9, 10	無
産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲 1-3, 5-7, 9, 10	有
	請求の範囲	無

2. 文献及び説明(PCT規則70.7)

文献1: JP 2003-174485 A (ソニー株式会社) 2003.06.20, 全文, 全図
& WO 2003/049392 A1

文献2: JP 11-220762 A (エヌ・ティ・ティ移動通信網株式会社) 1999.08.10
全文, 全図 & US 6512748 B1

本国際予備審査報告で新たに引用された文献3:
WO 2003/063465 A2 (AVIOM, INC) 2003.07.31, 請求項1,
第13頁第26行—第15頁第10行, 第17頁第7行—第18行
& JP 2005-516485 A & US 2003/0161324 A1 & US 2003/0161347 A1
& US 2003/0161354 A1 & US 2003/0165163 A1 & US 2003/0167425 A1
& EP 1476947 A1

請求の範囲 1, 6, 9, 10

本国際予備審査報告で新たに引用された文献3には、オーディオまたはビデオ情報を構成する24ビットのうちの高優先の11ビット(「重要度が高い特定のビットのセット」に相当)にのみエラー補正アルゴリズムを適用(「冗長ビットを付加して符号化データを生成」することに相当)し送信する送信装置と、その情報を受信する受信装置が記載されている。

請求の範囲 5, 7

上記文献2には、多値のFSK方式により変調、復調する技術が記載されている。
上記文献3記載の送受信手段として、文献2記載の多値のFSK方式を採用することとは適宜為し得ることであると認められる。

請求の範囲 2, 3

上記文献1乃至3には、冗長ビットを付加したデータのユークリッド距離が離れるように、重要度の高い特定のビットのセットに冗長ビットを付加すること、及び、グレイ符号が生成されるように、重要度の高い特定のビットのセットに冗長ビットを付加することについて記載も示唆もされていない。

請求の範囲

1. (補正後) 供給されたデータを構成する複数ビットのうちの重要度が高い特定のビットのセットに冗長ビットを付加して符号化データを生成する冗長ビット付加部と、

前記冗長ビット付加部が生成した符号化データに基づいて生成された被変調波信号を送出する変調部と、

を備えることを特徴とする送信装置。

2. 請求項 1 に記載の送信装置において、

前記冗長ビット付加部は、冗長ビットを付加したデータのユークリッド距離が離れるように、前記冗長ビットを付加したシンボルを配置する、ようにした送信装置。

3. (補正後) 請求項 1 に記載の送信装置において、

前記冗長ビット付加部は、グレイ符号が生成されるように、前記供給されたデータを構成する特定のビットのセットに冗長ビットを付加する、ようにした送信装置。

4.

5. 請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載の送信装置において、前記変調部は、多値の FSK 方式に従って変調を行うものである、送信装置。

6. (補正後) 送信用のデータを構成する複数のビットのうちの重要度が高い特定のビットのセットに冗長ビットを付加してなる符号化データ信号を受信する受信装置であって、

前記受信された符号化データ信号を復調する復調部と、

前記復調部により復調された信号に対して、ナイキスト間隔毎にシンボル判定を行うシンボル判定部と、

前記シンボル判定部がシンボル判定して得られたシンボル値をビット値に変換するビット変換部と、

前記ビット変換部により変換されたビット値のデータから、付加された冗長ビットを削除してデータ列を合成し、元のデータを復元するデータ復元部と、

を備えたことを特徴とする受信装置。

7. 請求項6に記載の受信装置において、

前記受信した信号は、多値のFSK方式に従って変調された信号であり、前記復調部は、前記受信信号の周波数に対応する電圧の信号に変換することにより、受信した信号を復調するものであり、そして前記シンボル判定部は、前記復調部が復調した信号の電圧を、予め設定された閾値と比較することにより、シンボル判定を行うものである、ように構成された受信装置。

8.

9. (補正後) 供給されたデータを構成する複数のビットのうちの重要度が高い特定のビットのセットに冗長ビットを付加して符号化データを生成するステップと、

前記生成された符号化データに基づいて生成された信号を送出するステップと、

を含むことを特徴とするデータ送信方法。

10. (補正後) 送信用のデータを構成する複数のビットのうちの重要度が高い特定のビットのセットに冗長ビットを付加してなる符号化データ信号を受信するステップと、

受信された符号化データ信号を復調して復調信号を得るステップと、

前記復調信号に対して、ナイキスト間隔毎にシンボル判定を行う

ステップと、

シンボル判定の結果、得られたシンボル値をビット値に変換する

ステップと、

前記変換されたビット値のデータから、付加された冗長ビットを
削除してデータ列を合成し、元のデータを復元するステップと、

を含むことを特徴とするデータ受信方法。